

主要施策名 : (3)男女共同参画社会の推進**事務事業本数:3**

基本目標(章)	主要施策(節)	所管課	事務事業コード	事務事業
(6)公平で誇りの持てる社会づくり	(3)男女共同参画社会の推進	人権啓発課	631-01	男女共同参画啓発事業
			631-02	男女共同参画計画運用事業
			631-03	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	男女共同参画啓発事業		所管課【2】 人権啓発課				
			作成者(担当者) 前田もと子				
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章) ⑥公平で誇りの持てる社会づくり					重点 施策【4】	
	主要施策(節) (3)男女共同参画社会の推進						
	施策区分 (1)男女共同参画社会の形成					□ 該当	
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□ 市長公約						
	■ 法令、県・市条例等【男女共同参画社会基本法、玉名市男女共同参画推進条例】 ■ その他の計画【玉名市男女共同参画計画(第4次 R5年度～R9年度)】					□ 該当なし	
事業区分 【6】	■ ソフト事業 □ 義務的事業 □ 建設・整備事業 □ 施設の維持管理事業						
	□ 内部管理事務 □ 計画等の策定及び進捗管理事務						
会計区分 【7】	■ 一般会計 □ 特別・企業会計【】	款 3	項 1	目 9	細目 1		

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題として位置づけられており、本市においても男女共同参画計画を策定し、事業や啓発を行っているが、未だに固定的性別役割意識は根強く残っており、DVや性的少數者(LGBT等)の方への偏見や差別など新たな課題が生じており、男女共同参画を取り巻く状況は大きく変化している。さらに、SDGsの理念「誰一人取り残さない」を踏まえ、ジェンダー平等な社会の実現を推進していくことがますます重要である。また、地域社会における女性の参画も進んでいないのが実情である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	住民一人一人が男女共同参画に対して理解を深め、家庭、地域、職場など社会のあらゆる分野において、固定的性別役割分担意識の解消やDV・セクシャルハラスメント、性的少數者(LGBT等)の方への偏見や差別等による人権侵害のない社会を構築していく。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【年度】 【H17 年度から】	■ 单年度繰返し 【年度～年度まで】	□ 期間限定複数年度 【年度～年度まで】
事業主体 【12】	□ 国 □ 県 ■ 市 □ 民間	□ その他【】	
実施方法 【13】	■ 直営 □ 全部委託・請負 □ 一部委託・請負 □ 補助金等交付	□ その他【】	
事務事業の具体的な内容 【14】	<p>・「男女がともに尊重し合い、自分らしく生きられる社会の実現をめざして」をテーマにフォーラム(隔年)を開催する。 ・男女共同参画の視点に立った啓発講座を開催する。 ・男女共同参画社会づくり推進のための研修会等を開催する。 ・内閣府が定める「男女共同参画週間」(6/23～29)にあわせた事業を行う。</p>		
	<p>【15】事務事業を構成する細事業(3)本</p> <p>⇒</p> <p>① 男女共同参画啓発事業</p> <p>② 男女共同参画週間推進事業</p> <p>③ 男女共同参画フォーラム開催事業</p>		

《事務事業実施に係るコスト》

事業費 (千円)	投入コスト	職員件の費	R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
			国庫支出金	0	0	0	1,408
			県支出金	0	0	0	0
			起債	0	0	0	0
			受益者負担	0	0	0	0
			その他	0	0	0	0
			一般財源	294	1,654	340	1,748
			【16】小計	294	1,654	340	3,156
			職員人工数	0.62	0.84	0.42	0.94
			職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752
			会計年度任用職員人工数	0.00	0.20	0.37	0.37
			会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034
			【17】小計	3,366	4,930	3,246	6,160
			合計	3,660	6,584	3,586	9,316

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 男女共同参画啓発事業	市が主催及び共催する啓発講座の開催	啓発講座開催回数	回	15	32	37	37
② 男女共同参画週間推進事業	市が啓発推進する事業の開催	啓発パネル等の展示箇所数	箇所	6	6	5	6
③ 男女共同参画フォーラム開催事業	市が主催するフォーラムの開催	フォーラム開催数	回	0	1	0	1

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 男女共同参画関連事業参加人数	細事業①、②、③の参加者総数	人	200	1200	400	450
2		人	405	880	356	△

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
〔必妥要当性性〕 〔20〕	【実施主体の妥当性】〔20-1〕 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市が率先して周知・啓発をしていく必要があるため。
	【目的の妥当性】〔20-2〕 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	固定的性別役割分担意識の解消やDV/セクシャルハラスメント等の差別や偏見による人権侵害のない社会を構築する必要があるため、引き続き行う必要がある。
	【休廃止の影響】〔20-3〕 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	事業を休止・廃止した場合、ますます男女共同参画社会について理解が得られなくなる。継続して行う必要がある。
〔有効性〕 〔21〕	【目標の達成度】〔21-1〕 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	周知についてはチラシや広報、SNS等を活用したが、目標にはあと一歩及ばなかった。
	【細事業の適当性】〔21-2〕 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	多くの方に啓発・周知するには講座や街頭啓発等を利用していい方法が良いと考える。したがって、目標を達成する内容となっている。
〔効率性〕 〔22〕	【コストの低減】〔22-1〕 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	なるべく費用をかけずに、周知・啓発できることはないか、常に考えておく必要があるが、現時点では検討の余地はない。
	【執行過程の見直し】〔22-2〕 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	デジタル技術の導入により、講座の申し込みや取りまとめ、参加者への一斉周知ができるようになり、事務の負担軽減につながった。
	【民間活力の活用】〔22-3〕 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	現時点では検討の余地はない。
	【類似事業との統合】〔22-4〕 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	目的が類似する事業はないため、統合について検討の余地はない。なお、類似する講座がある場合には、共催とするなどで有効性を高めることが考えられる。
〔公平性〕 〔23〕	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	市の啓発事業であるため検討の余地はない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況	(前回のふりかえりの内容)		
	引き続き、講座等において、アンケートや追跡調査を行い、受講者のニーズ把握に努める。また、社会情勢の変化にも対応した講座内容についていくと共に周知・啓発も積極的に行っていく。		
〔24〕	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
	前回の振り返り同様、アンケートや追跡調査等を行っていき、男女共同参画社会への理解度を確認していく。ポスター・チラシ・広報・SNSだけではなく、実際に商業施設へ出向き、直接市民の方に手渡しをすることができ、市民の方の反応も見ることができた。毎年同時期に啓発を行っているため、男女共同参画社会への認知度も少しは上がっているのではないかと思った。商業施設によっては人の出入りが違うため、人が多く集まる日に計画をするなどで対応した。今後も状況を見ながら継続して行っていく。		
次年度の方向性	□ 拡充して継続 ■ 現状のまま継続 □ 縮小して継続 □ 執行方法の改善 □ 休止・廃止 □ 終了		
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	引き続き、講座等において、アンケートや追跡調査を行い、男女共同参画社会への理解度を確認していく。また、社会情勢の変化にも対応した講座内容についていくと共に周知・啓発も積極的に行っていく。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見	評価責任者	
[26]	社会の動向や報道等の情報収集に努め、固定的性別役割分担意識の解消やDV・セクシャルハラスメント等の差別や偏見のない男女共同参画社会の実現に向けて、講座やフォーラムをはじめとする啓発事業の内容を工夫するとともに、関係部署との連携や共催等働きかける必要がある。	平川 伸治

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	男女共同参画計画運用事業		所管課【2】	人権啓発課	
	作成者(担当者)			前田もと子	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥公平で誇りの持てる社会づくり			重点 施策【4】
	主要施策(節)	(3)男女共同参画社会の推進			
	施策区分	(1)男女共同参画社会の形成			□該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	□市長公約				
	■法令、県・市条例等【男女共同参画社会基本法、玉名市男女共同参画推進条例】				
事業区分 【6】	■その他の計画【玉名市男女共同参画計画(第4次 R5年度～R9年度)】				
	□ソフト事業	□義務的事業	□建設・整備事業	□施設の維持管理事業	
会計区分 【7】	□内部管理事務	□計画等の策定及び進捗管理事務			
	■一般会計	□特別・企業会計【】	】	款3項1目9	細目2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題として位置づけられており、本市においても男女共同参画計画を策定し、事業や啓発を行っているが、未だに固定的性別役割意識は根強く残っており、DVや性的な少数者(LGBT等)の方への偏見や差別など新たな課題が生じており、男女共同参画を取り巻く状況は大きく変化している。さらに、SDGsの理念「誰一人取り残さない」を踏まえ、ジェンダー平等な社会の実現を推進していくことがますます重要である。また、地域社会における女性の参画も進んでいないのが実情である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、人権
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	男女が性別にとらわれず、責任も喜びも分かち合い、個性と能力を發揮しながら社会のあらゆる分野へ参画していく男女共同参画社会の実現を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	□ 単年度のみ 【年度】	■ 单年度繰返し 【H17 年度から】	□ 期間限定複数年度 【年度～年度まで】
事業主体 【12】	□国	□県	■市
実施方法 【13】	□民間	□その他【】	□直営
■全部委託・請負			□一部委託・請負
□補助金等交付			□その他【】
事務事業の具体的な内容 【14】			・「玉名市男女共同参画計画」に掲げる、男女がともに尊重しあい、自分らしく生きられる社会の実現を目指し、各施策への取組状況を管理する。 ・市長が委嘱する諮問機関として、男女共同参画社会の形成に向けた各施策に関する調査審議を行うための審議会を開催する。 ・庁内職員による委員会として、男女共同参画社会の形成に向けた施策の総合的かつ効果的な企画や推進を図るための委員会や専門部会を開催する。
			【15】事務事業を構成する細事業(3)本 ①男女共同参画計画進行管理事業 ②男女共同参画審議会業務 ③男女共同参画社会行政推進委員会業務

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,259	91	93	208	0
	【16】小計	2,259	91	93	208	0
投入コスト 職員件の費	職員人工数	0.86	0.25	0.20	0.20	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】小計	4,669	1,389	1,145	1,150	
	合計	6,928	1,480	1,238	1,358	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 男女共同参画計画進行管理事業	年度ごとの各課事業の実施状況を検証	進行管理の対象となる項目数	件	431	712	712	712
② 男女共同参画審議会業務	外部委員による諮問機関として調査審議し施策の推進を図る	審議会の開催回数	回	4	2	2	2
③ 男女共同参画社会行政推進委員会業務	総合的企画や効果的な施策の推進を図る	委員会の開催回数	回	4	2	2	2

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 市役所における審議会等女性登用率	各課所管の審議会等の女性委員の割合を計算	%	35	35	35	35
2		%	25.5	26.3	27.0	△

《事務事業の評価》

	評価視点	判断理由	
〔必妥要当性性〕 〔20〕	【実施主体の妥当性】〔20-1〕 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	市が実施するよう法令等で義務づけられている。
	【目的の妥当性】〔20-2〕 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	男女が性別にとらわれず、個性と能力を発揮しながら社会のあらゆる分野へ参画していく男女共同参画社会の実現を目指すにはまだまだ進めていかなければならない。
	【休廃止の影響】〔20-3〕 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	玉名市が目指す男女共同参画計画の目指すべき方向を示すものであり、市、事業者、地域が一体となって取り組むべきことである。
〔有効性〕 〔21〕	【目標の達成度】〔21-1〕 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	全庁的な意識改革が必要(地域、事業所も同じ)
	【細事業の適当性】〔21-2〕 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	進捗管理を行うことにより、取組内容が明確化する。振りかえることもでき、次に繋げることができる。したがって、進行管理等を内容とする細事業の構成は適当である。
〔効率性〕 〔22〕	【コストの低減】〔22-1〕 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	計画策定時の委託事業者選定については、金額だけではなく、内容を重視してもらえる業者選定が必要。委員報酬についても、見直しの余地はない。
	【執行過程の見直し】〔22-2〕 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	専門部会、行政推進委員会、審議会業務については、簡素化や改善の余地はない。
	【民間活力の活用】〔22-3〕 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地なし <input checked="" type="checkbox"/> 余地あり	民間事業者によるデータ分析や提案など、民間のノウハウ活用ができればよいと考える。
	【類似事業との統合】〔22-4〕 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	男女共同参画計画は個別の計画であり、目的が類似する計画はない。したがって、目的が類似事業ではなく、統合について検討の余地はない。
〔公平性〕 〔23〕	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	計画策定運用業務は受益者負担は求められない。

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 〔24〕	(前回のふりかえりの内容)
	第4次計画のもと、各課において取組が行われている。令和9年度までに指標については目標を達成しなければならないため、今後も進捗管理を行っていき、推移をみていく。また、審議会等への女性委員登用についても、改選日の把握、女性人材リストの活用、また人材リストの充実に努めていく必要がある。併せて、人材の発掘にも力を入れていく。
次年度の方向性 〔25〕	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	第4次計画のもと、各課において取組が行われている。令和9年度までに指標については目標を達成しなければならないため、今後も進捗管理を行っていき、推移をみていく。また、審議会等への女性委員登用についても、改選日の把握、女性人材リストの活用、また人材リストの充実に努めていく必要がある。併せて、多方面の人材の発掘にも力を入れていく。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 〔26〕	第4次計画の基本目標である「すべてのひとがお互いを尊重し支え合い自分らしく生きられる社会の実現」を目指し、府内関係各課と連携し、指標(数値目標)達成に向けて事業を実施する。本年度は、第4次計画の中間年でもあることから、中間目標達成に向けて進捗管理を行う。	評価責任者 平川 伸治
----------------------	---	----------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	男女共同参画社会づくり地域リーダー育成事業		所管課 【2】	人権啓発課							
	作成者(担当者)			前田もと子							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥公平で誇りの持てる社会づくり			重点 施策 【4】						
	主要施策(節)	(3)男女共同参画社会の推進									
	施策区分	(1)男女共同参画社会の形成			□ 該当						
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【男女共同参画社会基本法、玉名市男女共同参画推進条例】 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画【玉名市男女共同参画計画(第4次 R5年度～R9年度)】 <input type="checkbox"/> 該当なし										
	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定及び進捗管理事務										
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【】 款 3 項 1 目 9 細目 3										

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	男女共同参画社会の形成は、国の最重要課題として位置づけられており、本市においても男女共同参画計画を策定し、事業や啓発を行っているが、未だに固有的性別役割意識は根強く残っており、DVや性的少數者(LGBT等)の方への偏見や差別など新たな課題が生じており、男女共同参画を取り巻く状況は大きく変化している。さらに、SDGsの理念「誰一人取り残さない」を踏まえ、ジェンダー平等な社会の実現を推進していくことがますます重要である。また、地域社会における女性の参画も進んでいないのが実情である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	参加を希望する市民、市職員
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	参加者が男女共同参画社会づくりについての幅広い見識と行動力を身につけるための研修(講話、交流、視察等)を受けることで、各々の地域や職場において男女共同参画計画を基本とした豊かな地域づくりに向け、積極的に活躍できる人材を輩出し、本市における男女共同参画社会づくりを進めていく。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し 【年度】 【H17 年度から】 【年度～年度まで】	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input checked="" type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【】	
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【申請取りまとめ】	
事務事業の具体的な内容 【14】	男女共同参画社会づくりの地域リーダーを育成するために開催される熊本県主催の研修事業の参加者募集を市HP・ライン等にて行う。 (研修内容) 事前研修、県外研修、自主研修、事後研修、報告書作成	【15】 事務事業を構成する細事業(1)本 ① 地域リーダー育成事業募集業務 ② ③

《事務事業実施に係るコスト》

		R04年度決算	R05年度決算	R06年度決算	R07年度予算	全体計画
事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0
	受益者負担	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	59	0	0
	【16】小計	0	0	59	0	0
	職員人工費	0.02	0.13	0.10	0.00	
	職員の年間平均給与額(千円)	5,429	5,554	5,727	5,752	
	会計年度任用職員人工数	0.00	0.00	0.00	0.00	
職員件の費	会計年度任用職員の年間平均給与額(千円)	1,382	1,325	2,273	2,034	
	【17】小計	109	722	573	0	
	合計	109	722	632	0	

《事務事業の手段と活動指標》 [18]

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的な内容)	活動指標	単位	R04実績	R05実績	R06実績	R07計画
① 地域リーダー育成事業募集業務	県外研修参加者の募集	募集回数	回	0	1	1	1
②	※R7年度より男女共同参画啓発事業の中に組み込む						
③							

《事務事業の成果》 [19]

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	R04目標	R05目標	R06目標	R07目標
			R04実績	R05実績	R06実績	△
1 地域リーダー育成者数	研修に参加し育成された地域リーダーの累計数	人	24 23	24 23	24 26	27 △
2	※R7年度より男女共同参画啓発事業の中に組み込む					△

《事務事業の評価》

評価視点		判断理由		
（必妥要当性） 【20】	【実施主体の妥当性】【20-1】 市が実施すべきであるか(民間、NPOなどが実施できないか。)。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべき <input type="checkbox"/> 市が実施する必要はない	県が実施している事業であるが、市においては周知・募集を募り、地域リーダーとなりうる参加者を推薦する。	
	【目的の妥当性】【20-2】 社会情勢の変化により、目的(対象・意図)の見直しは必要でないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要なし <input type="checkbox"/> 必要あり	固定的性別役割分担意識等がいまだ根強く残っているため、まだまだ取り組んでいく必要がある。	
	【休廃止の影響】【20-3】 事務事業を休止・廃止をした場合、市民に影響はないか。	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり	県内各地からの多種多様業務の方が参加される研修である。参加された方にとっては貴重な情報交換や交流が生まれる機会となるため、休止された場合はその機会がなくなることになる。	
有効性 【21】	【目標の達成度】【21-1】 成果指標の目標は達成できたか。 達成、未達成の原因はどのようなことが考えられるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	市民から2人の応募あり、参加された。ほかの参加者との交流もあり、有意義な研修となったようであり地域や職場に戻られ、活躍されている。	
	【細事業の適当性】【21-2】 目的(意図)を達成するため、細事業の構成は適当であるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 適当 <input type="checkbox"/> 不適当	今の細事業の構成は目的を達成する上で適当である。	
効率性 【22】	【コストの低減】【22-1】 コストの低減について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	市はあくまでも募集のみである。予算は市職員が参加する場合に旅費のみを支出する。	
	【執行過程の見直し】【22-2】 執行過程の簡素化・改善について、検討の余地はないか。(デジタル技術の導入など)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	募集については、ホームページ、LINE等を活用している。それ以外では改善の余地はない。	
	【民間活力の活用】【22-3】 民間のノウハウ活用について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	募集業務のため、民間の活用性は低い。	
	【類似事業との統合】【22-4】 目的が類似する他の事業との統合について、検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地なし <input type="checkbox"/> 余地あり	R7年度から男女共同参画啓発事業の中に統合した。	
公平性 【23】	受益者負担について、検討の余地はないか。 徴収を行っている場合は、負担水準(対象・金額)について検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	募集事務のため、受益者負担なし。	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対する見直し・改善状況 【24】	(前回のふりかえりの内容)		
	リーダー研修については、研修先、期間等、県において検討されたが、1泊2日の関東方面となった。県の事業ではあるが、募集期間が短期間になっても、ホームページやSNS等を活用し、広く市民へ周知・募集をし、参加を呼び掛ける。		
	(前回のふりかえりに対する見直し・改善状況)		
	県からの募集案内があり次第、ホームページやLINEにて周知・募集を行った。また女性人材リスト登録者へも周知したところ、その中から1名の参加希望があった。市民からはホームページを見て参加希望された方も含めて2人の参加希望があり、推薦を行った。研修終了後、地域や職場に戻られ、学ばれたことを実践し、活躍をされている。		
次年度の方向性 【25】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 終了
次年度の方向性に対する判断理由及び見直し・改善の具体的な内容	県の事業であるが、募集期間が短期間になっても、ホームページやSNS等を活用し、広く市民へ周知・募集をし、参加を呼びかける。今後も女性人材リスト登録者へも周知し参加を呼びかける予定である。 事業はそのまま継続されるが、市の予算については、男女共同参画啓発事業の中に組み込んだ(R7年度予算より) 事業の予算は職員の旅費・消耗品であるため、R7年度より変更になっている。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【26】	評価責任者
男女共同参画社会を基本とした豊かな地域社会づくりに対して意欲・関心のある職員や幅広い年齢層の市民に対して、地域リーダー研修への募集期間以外でも人材の発掘に心がけるとともに、地域リーダー研修修了者に対して市が行う男女共同参画に関する事業への周知協力を働き掛ける。	平川 伸治